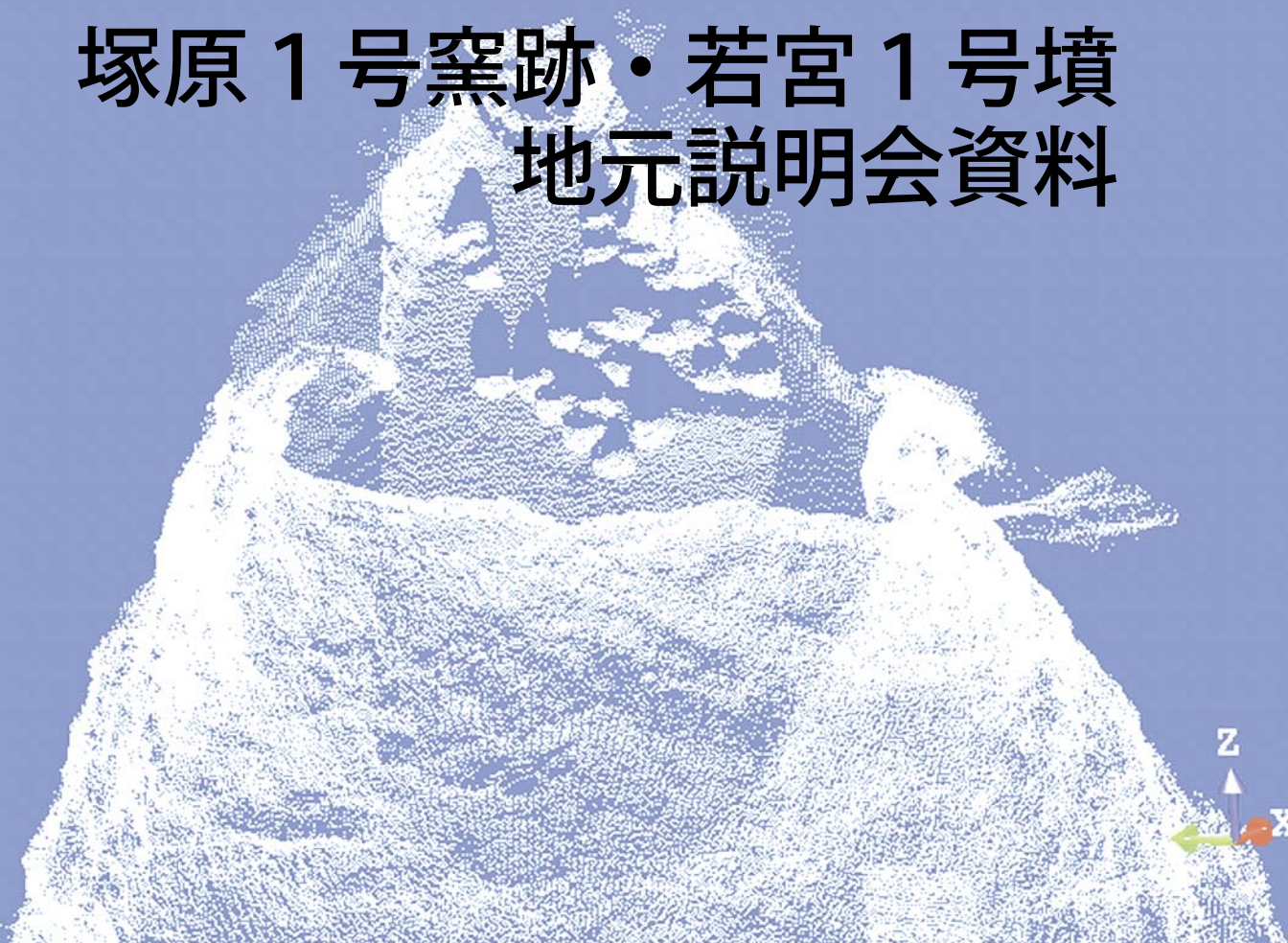


塚原1号窯跡・若宮1号墳 地元説明会資料



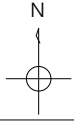
日時 2006年12月16日(土) 10時30分～

場所 塚原1号窯跡・若宮1号墳発掘調査現場

主催 (財)愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター

(<http://www.maibun.com>)

支援 (有)山武考古学研究所



若宮 1 号墳



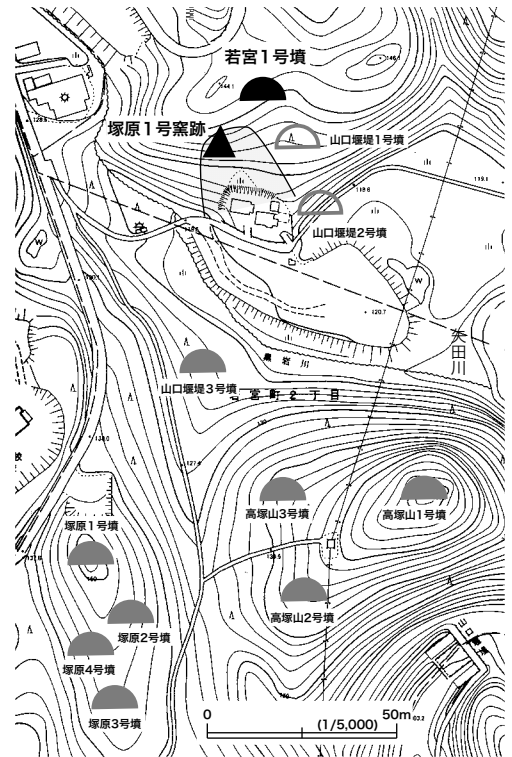
調査区全景 (南東より)

塚原 1 号窯跡

遺跡位置図 (1 : 300)

つかはら かまあと わかみや ごうふん 塚原1号窯跡・若宮1号墳について

遺跡の位置 瀬戸市南東部の若宮町一丁目内に所在します。ここは矢田川(赤津川)が大きく南向から西向に屈曲する、右岸側の丘陵上に位置します。標高は約140m。付近には、塚原1号墳など、「塚原古墳群」と呼ばれる古墳群の存在が知られており、若宮1号墳はこの塚原古墳群・高塚山古墳群の北端あたりに位置します。また、矢田川を挟んだ南側の丘陵にも、広久手1号墳などの古墳や、百代寺窯跡・広久手1号窯跡など、古墳・窯業遺跡が集中しています。



調査の経緯 発掘調査は、国道248号線道路改良工事に伴う事前調査として、名古屋東部丘陵工事事務所建設課より愛知県教育委員会を通じて、(財)愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センターが委託を受けて実施しています。平成18年9月から平成19年2月までの予定で実施しており、この調査は、(有)山武考古学研究所の支援を受けて行っています。

調査の概要

若宮1号墳 調査前にすでに墳丘盛土の大半が流出し、石室が露出していた状態でしたが、調査の結果、横穴式石室については、玄室、羨道、前庭部までが確認されています。石室は地山まで掘削した墓壇に、周囲に産出する花崗岩を壁に積んで造られています。

古墳に関わる出土遺物は、希少ですが、周囲から6世紀末から7世紀初頭頃の須恵器片(高坏の脚部)が出土しています。

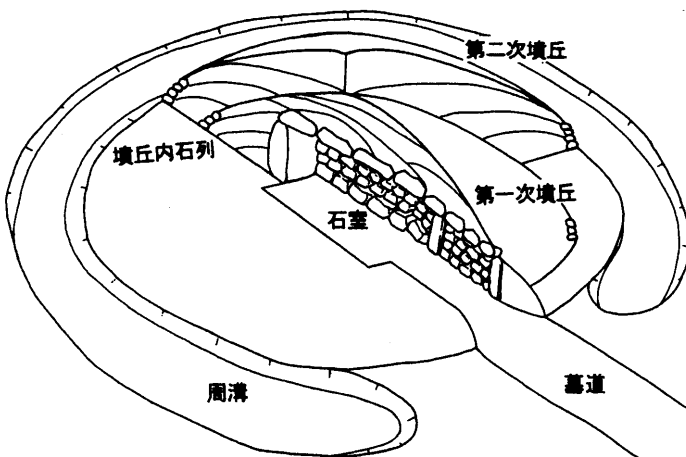
石室内からは、山茶碗の碗・小皿および古瀬戸片が出土しています。羨道部を中心として、石材が被熱しているほか、炭化物の広がりも確認できました。塚原1号窯跡の操業時に、何かの形で利用されていた可能性も考えられます。



石室の出土状態（玄室側より）



石室の出土状態（羨道側より）

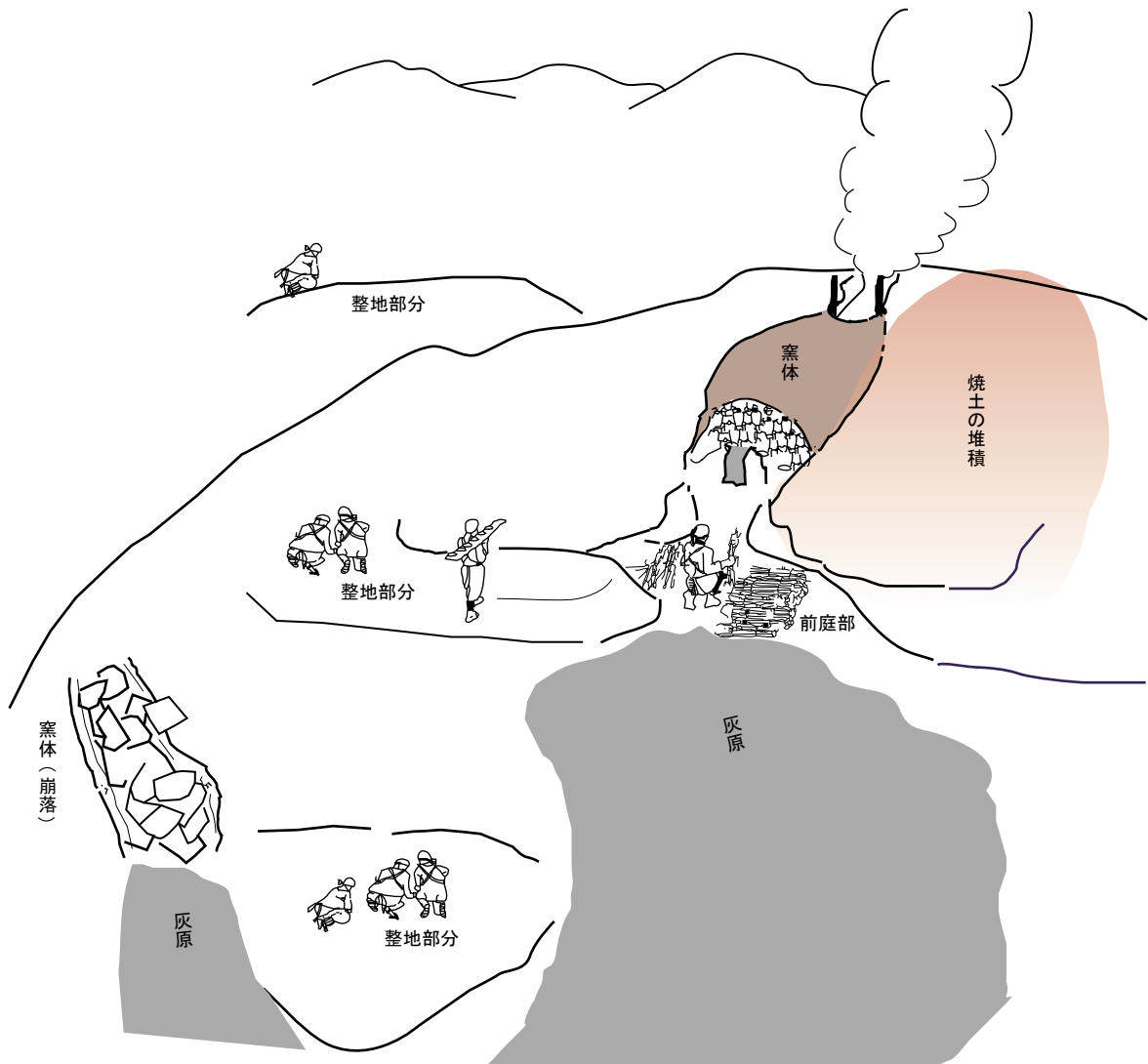


古墳の各施設の名称

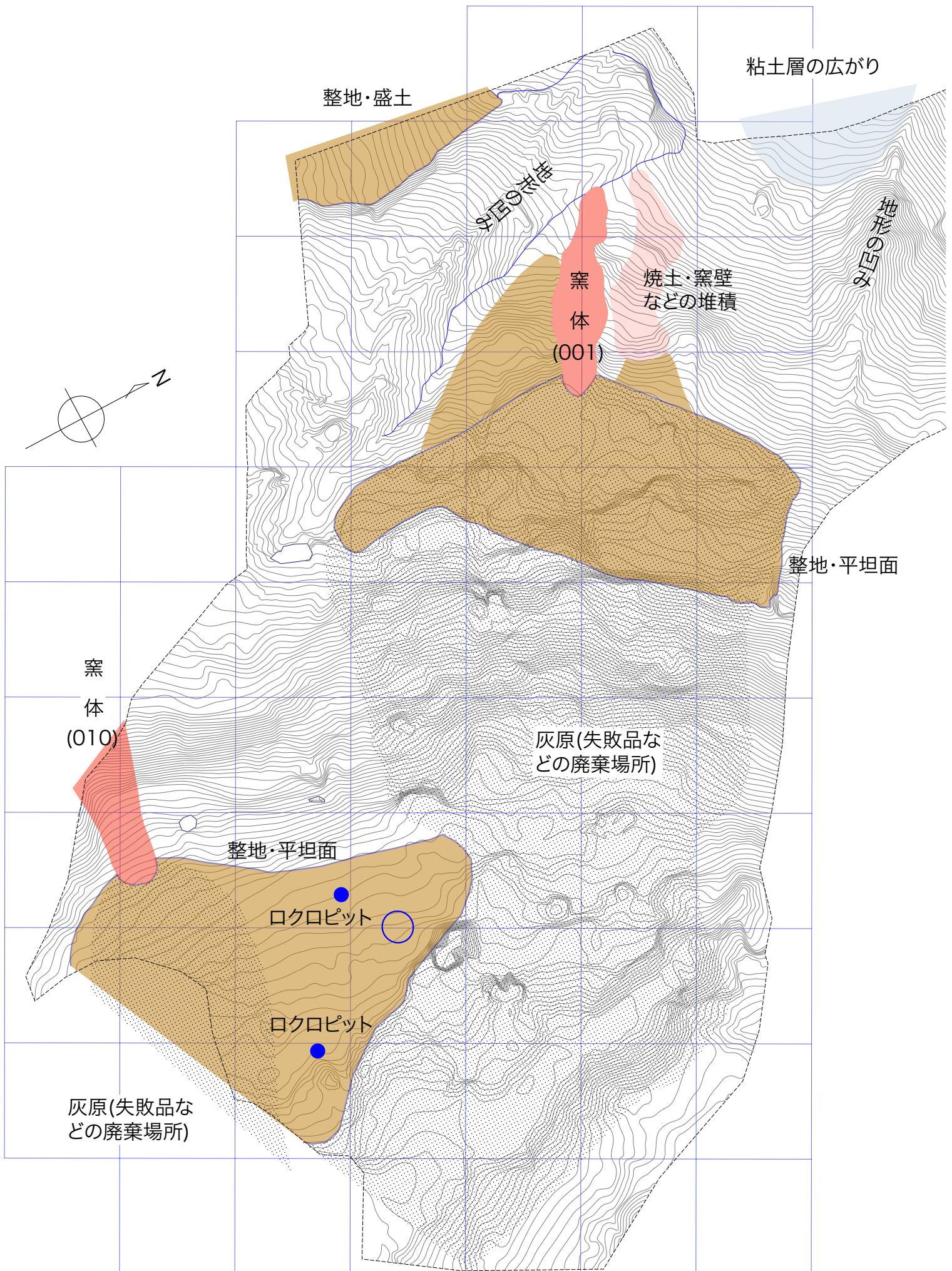
(小幡早苗・近藤美紀 2001「横穴式石室用語の定義」『東海の後期古墳を考える』第8回東海考古学フォーラム三河大会・三河古墳研究会)

塚原1号窯跡 今回の調査で、陶器を焼成した「窯体」・整地された「平坦面」・「ロクロピット」など作業を行った場所・失敗品などが廃棄されて堆積した「灰原」が見つっています。窯体は2基見つっています。そのうちの一基(001)の保存状況は良好で、焚口・燃焼室・焼成室・ダンパー・煙道部の残存が確認されています。特に、焼成室では、一部天井の残存が確認できたのは特筆すべき点として挙げられます。また、ダンパーは棒に粘土を貼付けてつくられた様子が確認されました。さらに、窯体のみならず、他の作業空間も調査することができ、地山への切り込みおよび盛り土など、窯業生産を進行するに伴って、周囲の地形改変を行っている様子が確認されています。

出土遺物は、「山茶碗」とよばれる無釉陶器と「古瀬戸」とよばれる施釉陶器とがともに出土しています。時代は鎌倉時代(13世紀後半頃)と考えられます。山茶碗には「碗」・「小皿」が、古瀬戸には「卸皿」・「水注」・「瓶子」・「四耳壺」などが見られ、「硯」も1点見つっています。また、古瀬戸でははじめてとなる、戯画が線刻された四耳壺片が出土しています。



塚原1号窯操作当時の復元図





窯体 (001) は、全長 11.1m、幅は 1.9m で、
 床面傾斜は、焼成室で 32 度、燃焼室で 22 度
 を測ります。燃焼室が焼成室同様に傾斜してい
 るのが、大きな特徴です。



焼成室の一部は天井が残存しています。

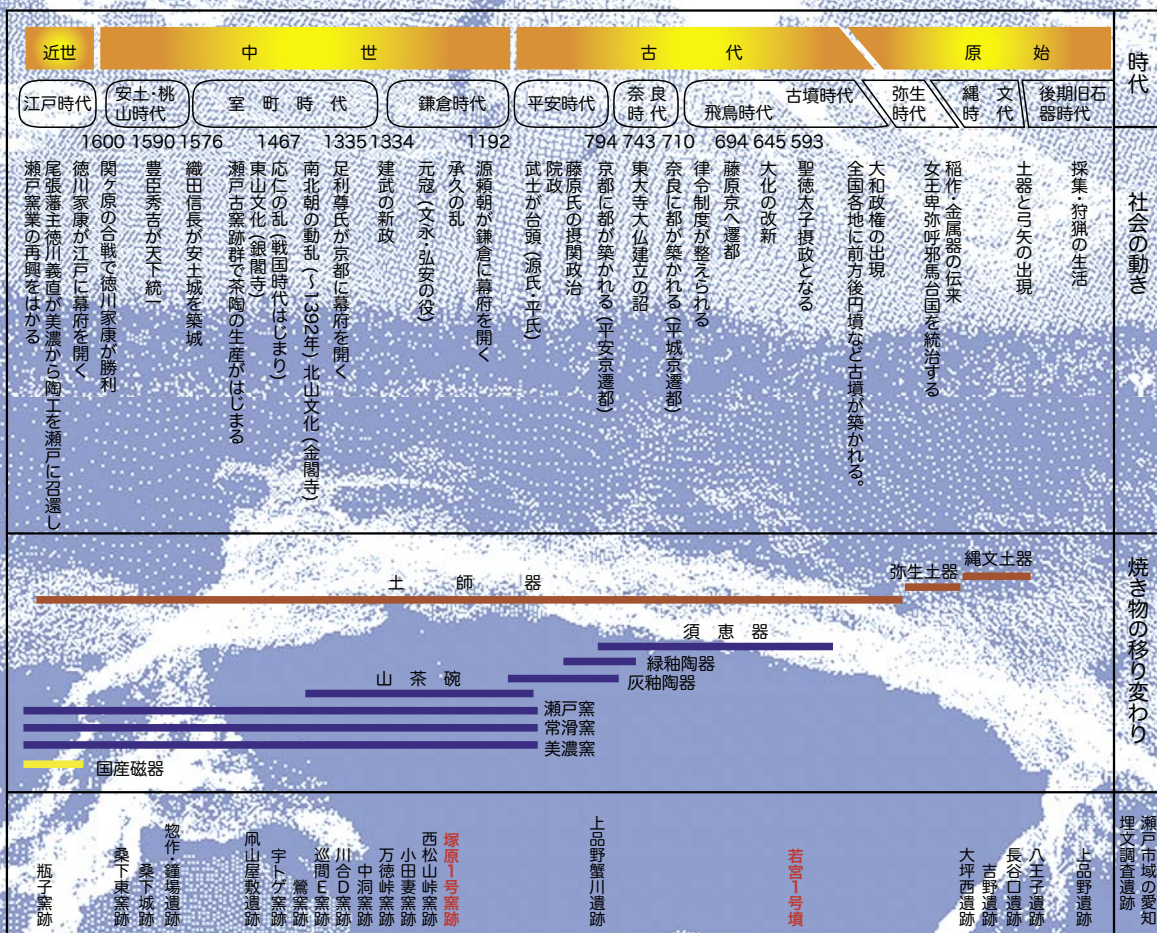


床面には、焼台の配列が残されています。これ
 により、製品の窯詰めの様子を考えることがで
 きます。



ダンパー部分には、壁際近くに、炭化した木
 の跡が見つかっています。木の棒の周りに
 粘土を貼付けていると考えられます。

まとめ 塚原1号窯跡は、遺跡全体としては灰原を中心に繰り返し盗掘を受けていたものの、保存状態が良好で、天井の残った窯体のみならず、周辺に展開する一連の作業(場)も総合して検討し得る調査事例となりました。また、若宮1号墳は、塚原古墳群・高塚山古墳群の北端に位置するものとして、他の古墳との比較検討する資料が提示できることとなりました。



※表および裏表紙の測量データについては、(株)イビソクより提供を受けた。